

玉井小だより

平成27年6月9日
大玉村立玉井小学校
TEL (48) 3302
発行者 校長 佐藤一男

「日本で最も美しい村クリーン活動」

6月4日(木)、「日本で最も美しい村クリーン活動」を行いました。3校時目に、1年生から6年生までの縦割班で、通学路のゴミを拾ったり、校庭の草を取ったりしました。1時間で36袋のゴミや雑草が集まりました。

地域の方へもきちんとあいさつができました。

小さな活動ではありますが、このような活動を積み重ねていくことが、奉仕の精神や人の役にたとうとする優しい心を育むと信じています。



【美しい村のために】

P T A 奉仕作業、ありがとうございました

6月7日(日)には、P T Aの奉仕作業が行われました。日曜日の朝の貴重な時間にもかかわらず、108人もの方に参加していただきました。

女性の方には図書室の古い本の整理をしていただきました。村の図書をコンピュータで管理するシステムに移行するため準備作業です。古い本を選び出し、束ねて運び出すのですが、重い本の束を3階から1階の昇降口まで運ぶのは大変な作業でした。

男性の方には草刈りをお願いしました。広い校地ですので、作業も大変でしたが、1時間半ですっかりきれいになりました。39台の刈り払い機の威力は大変なものです。校舎裏の崖やフェンスの外の急な斜面まで刈っていただきました。教職員だけではとてもここまではできません。

子どもたちには、

保護者の方々の奉仕作業のおかげで、安全な環境のもと、安心して勉強できるのだということをきちんと教えていきたいと思います。

本当にありがとうございました。



【児童図書の整理作業】



【草刈り作業】

『大切ななかま モンシロチョウが飛び立ちました』



3年生は5月はじめから、教室でモンシロチョウを飼育し、観察を続けてきました。卵、アオムシ、さなぎそしてチョウと変態する様子を丁寧に観察することで、様々な発見があったようです。

愛情をもって何かを見つけようとしないと、見えてこないものもあります。子どもの理科の観察記録カードを紹介します。

5 / 8 (金)

モンシロチョウのたまごの色がきいろなんだなと気づきました。モンシロチョウがキャベツにくるなんはじめてしりました。モンシロチョウのたまごがすごく小さいなんてはじめてしりました。

(先生) はじめての発見がたくさんありましたね。

5 / 15 (金)

(アオムシは) 毛がいっぱいはえていることに気づきました。

(先生) 毛のようすまでかんさつすることができてすごいですね。

5 / 25 (月)

(さなぎは) えさを食べないで、しなないのかなと思いました。キャベツの葉のところに糸をはるんだなと思いました。

(先生) 何も食べなくなってしまうって、おどろきましたね。糸のようすがとてもよくかんさつできていますね。

6 / 1 (月)

さなぎからチョウになると、ごはんを食べるんだなと気づきました。小さいたまごからこんなにでっかくなるなんてチョウはすごいなと思いました。

(先生) さなぎのときは、まったく食べないので心配でしたが、せい虫になると、みつやさとう水をのむのですね。

6 / 2 (火)

今日、クラスみんなでモンシロチョウをはなしてやりました。はなしたときは、元気でごはんをいっぱい食べてほしいと思いました。はなしたときは、元気だったので、すごくうれしかったです。

【3年1組 山田 聖さんの観察記録から】

子どもと先生のやりとりがとてもいいですね。

先生方は一人一人の子どもたちに、このように丁寧にかかわっていきます。そして子どもたちは、科学的な見方・考え方を少しずつ身につけていきます。

また子どもたちは、モンシロチョウの観察を通して、自然の力とすばらしさも感じ取っていきます。そして命の大切さや生き物をかわいがる優しい心も育まれていきます。

